

室町時代

建武の新政

- ・ 1333年 ①_____天皇が、楠木正成や足利尊氏などの武士によびかけ、鎌倉幕府をたおす。

鎌倉時代の終わりごろは、幕府に従わず^{しょうえん}荘園におし入る武士が増え、幕府は言うことを聞かせられなくなっていた。

- ・ 1334年 ①天皇が、天皇を中心とする新しい政治を始める。→②_____の新政
重要な役職には③_____（貴族）が多く用いられ、幕府をたおすために戦った武士への^{おんしょう}恩賞は少なかった。

→「これでは割に合わない」と武士の不満が高まる。

都では、夜うちや強盗、にせの天皇の命令が^{おうこう}横行するようすを皮肉った文（二条河原の落書）がかげられた。

→②の新政は、わずか2年ほどでくずれる。

南北朝の動乱

- ・ 1336年 ①_____が兵をあげ、京都に新しい天皇を立てる。→この朝廷を②という。

建武の新政を始めた天皇は京都をのがれ、奈良県の③_____に移る。→この朝廷を④という。

* のがれた天皇は、自分こそ正統な天皇だと主張した。

- ・ 二つの朝廷が全国の武士によびかけて争う。この約60年間に⑤_____という。

①は味方を増やすため、守護に^{しょうえん}荘園の年貢の半分を取り立てる権利を認める。

→守護は国内の武士を家来として従え、国全体を支配する⑥_____に成長していく。

室町幕府

- ・ 1338年 足利尊氏が北朝から①_____に任命され、京都に幕府を開く。→室町幕府
- ・ 1392年 3代将軍②_____が南北朝を統一し、長く続いた動乱が終わる。

②は京都の室町に「花の御所」とよばれる^{やしき}屋敷を建てて政治を行った。→「室町」幕府とよばれる^{ゆらい}由来。

- ・ 幕府のしくみ

中央 将軍の補佐役＝③_____（細川氏・^{し ば}斯波氏・^{はたけやま}畠山氏が交代でつく）

^{さむらいどころ}侍所（武士の統率）・^{とうそつ}政所（財政）・^{まんどころ}問注所（記録や裁判）

地方 関東の支配＝鎌倉に④_____を置く / 国ごとに守護、^{しょうえん}荘園などに^{じとう}地頭

* 鎌倉幕府の六波羅探題のように、朝廷を監視する役所は置かれていない。

中国との交流

- ・ 14世紀 中国や朝鮮半島の沿岸をおそい、人や物をうばう①_____が活動する。
このころ日本も中国も朝鮮も国内が乱れていて、取りしめる力がなかった。
- ・ 1368年 中国で漢民族が元を北に退け、②_____を建国する。
→②は日本に①の取りしめりを求めてくる。
- ・ 1404年 3代将軍足利義満がこれに応じ、②との貿易を始める。→④_____貿易
正式な貿易船には③_____という合い札を持たせた。
←二つに割った札を合わせ、本物の船かどうかを見分けるため。①の船を防ぐふせ。
③貿易ともいう。
- ・ 貿易の品物
日本から 刀剣・銅・硫黄・まき絵 / 日本へ ⑤_____・生糸・絹織物
→⑤は、日本国内の取引に広く使われるようになる。
- ・ この貿易は、日本の将軍が中国の皇帝に家来の立場で貢ぎ物をおくる⑥_____の形で行われた。
*義満が形の上で家来になってまで続けたのは、貿易の利益がとて大きかったから。

東アジアの国々と北方の人々

- ・ 14世紀の末 李成桂が高麗をほろぼし、朝鮮国を建てる。
朝鮮国では、民衆が読み書きできるように独自の文字①_____がつくられる。
日本は朝鮮国とも貿易を行い、綿織物や仏教の経典を輸入した。
- ・ 15世紀のはじめ 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都とする②_____を建てる。
日本・中国・朝鮮・東南アジアのどこにも近く、他の国から買い入れた品物を別の国へ売って栄えた。
→このような貿易を③_____貿易という。
- ・ 蝦夷地（北海道）では、古くから④_____民族の人々が狩りや漁、交易を行っていた。
津軽の⑤_____を根拠地とする安藤氏が、④民族と毛皮や昆布などを取り引きする。
- ・ 1457年 本州から来た人々（和人）との取引への不満から、④民族の首長⑥_____が戦いを起こす。
→和人におさえられ、④民族は不利な立場に置かれていく。

産業の発達

- ・ 農業
同じ田畑で米と麦を交互につくる①_____が、西日本から各地へ広まる。
牛馬で田畑を耕し、かんがいには水車、肥料に牛馬のふんや堆肥を使うようになる。

麻・くわ・あい・茶など、売のための作物の栽培も広がる。→収穫が増え、余った分を売れるようになる。

・商業と運送業

各地で開かれる②_____が、月3回から月6回に増える。取引には宋銭や明銭が使われる。

馬の背に荷物を積んで運ぶ③_____, 港で運送業をかねた倉庫業者の④_____が活やくする。

商人や手工業者は、同業者ごとに⑤_____という団体をつくる。

←公家や寺社に税を納めるかわりに、その商売を独占する権利を認めてもらうしくみ。

京都や奈良では、質屋を営む⑥_____や酒屋が金貸しをして富む。

幕府や寺社は、交通の要所に⑦_____を設けて通行税を取った。→物を運ぶ人には重い負担。

村と町の自治

- ・農村では、有力な農民を中心に①_____という自治組織がつくられる。

神社や寺で②_____という話し合いを開き、用水の使い方や村のおきてを自分たちで決めた。

→団結した農民は、年貢を減らすよう求めたり、借金の帳消しを求めたりして立ち上がるようになる。

- ・1428年 近江（滋賀県）の馬借や京都の農民が、借金の帳消しを求めて立ち上がる。→③_____農民が求めたのは、借金を帳消しにする④_____を幕府が出すこと。

（碑文）「正長元年より前の借金は、この地いきには一切ない」←帳消しになったことを刻んだ石碑。

- ・1485年 山城（京都府南部）で、武士と農民が守護大名を追い出し、8年間の自治を行う。→⑤_____

- ・1488年 加賀（石川県）で、浄土真宗の信仰で結びついた武士や農民が守護大名をたおす。→⑥_____

→加賀では、その後約100年にわたって自治が続いた。

- ・京都では、裕福な商工業者である⑦_____が町の政治を動かす。

戦乱でとだえていた祇園祭を復興させたのもこの人たち。

応仁の乱と戦国大名

- ・1467年 8代将軍①_____のあとつぎ問題に、細川氏と山名氏の勢力争いが結びつく。→②_____

戦乱は11年続き、京都の町は焼け野原になった。

→多くの公家や僧が地方へのがれ、都の文化が地方に広まるきっかけにもなる。

- ・ ②の後、家来が主人に打ち勝って地位をうばう③_____の風潮が広がる。
守護大名の地位をうばった者や、力をつけた守護大名が、実力で領国を支配するようになる。
→④
- ・ ④の領国支配
家来や領民を統制^{とうせい}するため、⑤_____という独自のきまりを定める。
城の周りに家来や商工業者を集めて⑥_____をつくり、鉱山^{こうざん}の開発やかんがい工事も行う。
・ ②の後、各地の大名が争った約100年間を⑦_____という。

室町時代の文化

- ・ 3代将軍足利義満のころ →①_____文化
公家^{くげ}の文化と、禅宗^{ぜんしゅう}の影響を受けた武家^{ぶけ}の文化が混じり合っているのが特色。
義満が京都の北山に②_____を建てる。←下の層は貴族^{きぞく}の住宅風、上の層は禅宗の寺風で、二つの文化が混ざっている。



猿楽^{さるがく}や田楽^{でんがく}から、観阿弥^{かんあみ}・世阿弥^{ぜあみ}の親子が③_____を大成する。←義満の保護を受けた。

③の合間には、民衆の生活や感情をよく表した喜劇^{きげき}④_____が演じられる。

- ・ 8代将軍足利義政のころ →⑤_____文化

簡素^{かんそ}で気品^{きひん}のある、落ち着いた文化。

義政が京都の東山に⑥_____を建てる。



同じ敷地の建物には、たたみを敷き床^{しきとこ}の間を設ける⑦_____が取り入れられる。←今の和室のもと。

禅宗の寺には、水を使わず石や砂で山や水の流れを表した⑧_____の庭がつくられる。

- ・ 絵画と民衆の文化

墨^{すみ}一色^{のうたん}の濃淡で自然をえがく⑨_____を、⑩_____が大成する。←中国で絵を学んで帰国した禅僧。

「一寸法師」「浦島太郎」などの絵入りの物語⑪_____が、民衆に読まれる。

和歌の上の句と下の句をよみつないでいく⑫_____が流行する。

解 答

- * 数値、読み方、表記法などは、主に使用している教科書、テキストに合わせてください。
- * 地名、人名などは出来るだけ漢字で書けるように練習しましょう。
- * 地名は必ず地図でどこにあるか確認してください。
- * 歴史の教科書の内容は改訂が多いので、現在使用している教科書で内容を確認してください。

建武の新政

- ① ごだいご 後醍醐 ② けんむ 建武 ③ くげ 公家

南北朝の動乱

- ① あしかがたかうじ 足利尊氏 ② ほくちょう 北朝 ③ よしの 吉野 ④ なんちょう 南朝 ⑤ なんぼくちょう 南北朝時代 ⑥ しゅごだいみょう 守護大名

室町幕府

- ① せいいたいしょうぐん 征夷大將軍 ② あしかがよしみつ 足利義満 ③ かんれい 管領 ④ かまくらふ 鎌倉府

中国との交流

- ① わこう 倭寇 ② みん 明 ③ かんごう 勘合 ④ にちみん 日明 ⑤ どうせん 銅銭 ⑥ ちょうこう 朝貢

東アジアの国々と北方の人々

- ① ハングル ② りゅうきゅう 琉球王国 ③ なかつぎ 中継 ④ アイヌ ⑤ とさみなと 十三湊 ⑥ コシャマイン

産業の発達

- ① にもうさく 二毛作 ② ていきいち 定期市 ③ ばしゃく 馬借 ④ とい 問（問丸） ⑤ ざ 座 ⑥ どそう 土倉 ⑦ せきしょ 関所

村と町の自治

- ① そう 惣 ② よりあい 寄合 ③ しょうちょう 正長の土一揆 ④ とくせいれい 徳政令 ⑤ やましろ 山城の国一揆 ⑥ かが 加賀の
⑦ いっこういっき 一向一揆 ⑦ まちしゅう 町衆

応仁の乱と戦国大名

- ① あしかがよしまさ 足利義政 ② おうにん 応仁の乱 ③ げこくじょう 下剋上 ④ せんごくだいみょう 戦国大名 ⑤ ぶんこくほう 分国法 ⑥ じょうかまち 城下町 ⑦
せんごく 戦国時代

室町時代の文化

- ① きたやま 北山 ② きんかく 金閣 ③ のう 能（能楽） ④ きょうげん 狂言 ⑤ ひがしやま 東山 ⑥ ぎんかく 銀閣
⑦ しょういんづくり 書院造 ⑧ かれさんすい 枯山水 ⑨ すいぼくが 水墨画 ⑩ せっしゅう 雪舟 ⑪ とぎぞうし お伽草子 ⑫ れんが 連歌